

後期高齢者の総胆管結石に対する長期予後を含む

治療成績の検討

情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

近年、ラージバルーンを用いた EPLBD が、大結石や積み上げ結石、傍乳頭憩室症例などの従来治療に難渋する総胆管結石に対する新たな治療法として広く普及している。しかしながら、高齢者における安全性や治療後の長期成績を検討した報告は少ない。本検討では、75 歳以上の後期高齢者の大結石(短径 10mm 以上)に対する EPLBD 下截石術の治療成績や安全性、長期予後を従来の EST 下截石術と比較することで明らかにすることを目的とした。

研究期間

2023 年 06 月 1 日から 2026 年 05 月 31 日 (3 年間) の予定

研究の対象となる方

2010 年 8 月から 2023 年 6 月の間に日本赤十字社和歌山医療センター消化器内科で総胆管結石に対して内視鏡治療を受けられた方。

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、75 歳以上の後期高齢者の大結石(短径 10mm 以上)に対する EPLBD 下截石術の治療成績や安全性、長期予後について統計学的に調査します

使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号 (ID) と氏名が含まれていない状態で、電子カルテからデータを抽出

します。また研究用パソコンは、インターネットにつなぎません。論文化から10年程度データを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されません。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

中野 省吾 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 医師

共同研究者

松本 久和 消化器内科 副部長
上野山 義人 消化器内科 部長

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171 (代表電話)

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20